

# 令和6年度 半田市総合計画市民評価委員会 議事録

開催日時	令和6年12月19日(木)	10時00分~12時00分
開催場所	半田市役所3階 会議室303	
会議次第	1. あいさつ 2. 議題 (1) 令和6年度半田市総合計画市民評価報告書(案)について 3. 連絡事項 (1) 次回の市民評価委員会について	
出席委員	(委員長) 千頭、(副委員長) 鈴木 (委員) 沢田(勉)、桑山、曾根、榊原、杉本、岩浪、伊藤、 沢田(貢)、上野 ※敬称略	
事務局	中村課長、企画課(斎藤・倉野・武田)	
議事概要		
1. あいさつ	(企画課長) あいさつ	
2. 議題 (1) 令和6年度半田市総合計画市民評価報告書(案)について	(事務局) ・資料に沿って説明  <対象施策ごとに評価内容の調整> <b>●第2章基本施策2「環境」</b> (副委員長) ・基本成果指標における、市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量が減っているが、どのような取組をしたのか。  (事務局) ・ごみ袋を有料化したことにより、市民のごみ減量に対する意識が上がった。また、ごみ減量目標を設定し、達成したことからごみ減量還元策としてごみ袋を配布する施策を実施したことが大きな要因と考える。  (副委員長) ・目標値を1人1日あたり450gとした理由はなにか。  (事務局) ・確認する。 →令和2年度当時、国は令和7年度までの5年間で一人当たり60gのごみ排出量削減を目標としていた。さらに、令和12年度までの5年間で60g減らすということで令和2年度の578gから120g削減し、最終目標値を450gとした。  (副委員長) ・目標値を設定する際は、トレンドに基づいているのかそれ以外の理由があるのかを明確にすることによって評価しやすくなる。  (委員)	

・矢勝川の水質について、県の管轄であるため、市としての取組には制限があると思うが、近隣住民からも改善が求められているため、市民評価に加えてほしい。また、外来種の生物などが増えていることも問題になっている。

(委員長)

・改善が必要な部分として、矢勝川の水質汚染について、近隣住民から改善を求められており、観光資源を保全するという観点からも改善に向けた取組を進めるべきであるということを付け加えてください。

(委員)

・チャレンジ 2030 においても水質汚染が項目に挙がっており、進捗状況が検討中となっているため、どのように活動しているのか明確になるとよい。

(委員長)

・そのことについても、市民評価に付け加えてください。

(委員)

・良い部分として、補助金を活用しながら取組を実施していることが挙げられているが、国からの交付金が採択されたことについて、周知が十分にされていなかったことは、改善が必要な部分として取り上げるべきである。

(委員長)

・全体評価は A 評価としてよろしいか。

(委員)

・異議なし

### ●第3章基本施策3「医療体制」

(副委員長)

・成果指標が策定時より下がっているため、庁内評価は C となっている。コロナ禍で医療機関を受診する機会が増えたことで医療体制の充実を実感する機会が一時的に増えたが、コロナが落ち着いたことによって、医療体制の充実を感じる機会が減ったからであるという見解がある。成果指標以外の部分で見ると、半田市の医療体制は手厚く整備されているということで A 評価とした。

(委員長)

・市民評価において、女性特有の乳がん・・・とあるが、乳がんは男性が罹患することもあるため、「女性特有」は削除したほうが良いのではないか。

(副委員長)

・男性の罹患数は増加傾向にないため、女性特有とした。女性の乳がん・・・と変更してはどうか。

(委員長)

・そのようにしてください。

(副委員長)

・ヒアリングの際に、休日歯科診療所である半田歯科医療センターが老朽化していることについての話があった。歯科診療所だけでなく、他の医療施設も老朽化が進んでいると思われるため、市内の医療施設の適切な維持管理に努めていただくということを、改善が必要な部分に追加してください。

(休日歯科診療所などの医療施設については外部団体が管理する施設であるため、評価報告書には記載しないこととする。)

(委員長)

・改善が必要な部分に、職員が当たり前と思っていることでも、市民にとってはそうでないケースがあると記載されているが、具体的な事例があるのか。

(事務局)

・ヒアリングでは、半田市には休日歯科診療所があり、市民にとってはそれが当たり前になっているが、そのような施設がある市町は少ない。半田市の優位性が当たり前のことと受け取られてしまうことがもったいないという話があった。

(委員)

・市内の医療体制が充実していると感じるには、市外の状況と比較する必要があると思う。そのため、市外と比較して半田市がどのような特徴があるのかをきちんと伝えるべきであるという話をした。

(委員長)

・半田市の医療体制や先進的な取組について、市民へ PR する方法の見直しや改善を図る必要があるという文章に修正してください。

・全体評価は A としてよろしいか。

(委員)

・異議なし

#### ●第4章基本施策3「都市基盤」

(委員長)

・名鉄河和線に「接続する」東西幹線道路とあるが、名鉄河和線「跨ぐ」の方が正しい表現であるため修正してください。

(委員)

・道路脇の雑草が生えていて危険を感じることもある。

(委員長)

・道路脇に生える雑草を含めた道路の維持管理を徹底することについて、改善が必要な部分に追加してください。

・全体評価は A としてよろしいか。

(委員)

・異議なし

### ●第5章基本施策1「協働」

(委員)

・市民の半田市に対する貢献意欲を向上させるため・・・の言い回しでは、市民に対して半田市に貢献するように伝わってしまいかねないので、もう少し違う表現がよいのではないか。

(委員長)

・「市民と行政が一緒になって住みよいまちを作るために」というような表現に修正してください。

(委員)

・様々な取組を実施していることは評価できるとあるが、これは庁内での取組を指しているのか、市民を巻き込んだ取組を指しているのか。

(委員長)

・両方とも含めるべきだと思う。

(委員)

・庁内、庁外の両方において PDCA のサイクルをうまく回し、さらに発展させることができるとよいということを表現したい。

(委員長)

・庁内における部局間での取組及び市民と行政との取組をさらに展開するために実施後のチェックを強化する必要があるというような表現に修正してください。

(委員)

・良い部分として、様々なツールや媒体を使って発信するなど・・・とあるが、そのようなツールを活用できていない、知らない人も多いため、広報媒体の周知についても追加してほしい。

(委員長)

・改善が必要な部分に、LINE などの新しいツールを市民に対してさらに PR するというを加えてください。

・全体評価は B 評価としてよろしいか。

(委員)

・異議なし

### ●第 5 章基本施策 3「行財政」

(副委員長)

・成果指標について、令和 3 年度から達成度が急激に上がった理由を、市民アンケートの設問を分かりやすく修正したこととしている。そのような理由であれば、目標値についても見直すべきではないかという意見がヒアリングの際に出た。

(委員)

・ヒアリングの際に、市長が変わったことで行政運営等にどのような変化が見られたかという質問は出たか。

(委員)

・市長が変わったことで、はたらく親を応援するまちというテーマのもと、財源配分がされており、全庁横断的に施策に取り組んでいる様子であった。

(委員長)

・良い部分として、はたらく親を応援するまちという明確なテーマがあり、それに基づいた施策が展開できている点を追加してください。

・全体評価は A としてよろしいか。

(委員)

・異議なし

〈全体のまとめ〉

(事務局)

・資料に沿って説明

・総括における、協働についての説明文は、先ほどの協働の施策評価内容の調整時でも話に出たが、市民の半田市に対する貢献意識が向上することで・・・の文章を適切な表現に修正する。

(委員)

・総括（評価のまとめ）において、市民へ PR する方法の見直しとあるが、市内外に分かりやすく半田市の優位性を PR する方法の見直しなど、もう少し具体的に書いても良いのではないか。半田が選ばれるまちであるということをもっと PR していきたい。

	<p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の地域と比較して半田市が持っている優位性を市民へ多様な手段で広報するという文章に修正してください。</li> </ul>
<p>3. 連絡事項  (1) 次回の市民  評価委員会につ  いて</p>	<p>(事務局)</p> <p>次回は、1月24日(金)10時から庁議室で開催。  内容は、報告書の決定、市長・副市長との懇談会を予定。</p>
<p>(終 了)</p>	